

雷には要注意

真夏の暑い日には、天気が急変し、突然の激しい雷雨になることがあります。このような天気の急変の原因は、「積乱雲」という雲です。発達した積乱雲は、ときに「急な大雨」「雷」「ひょう」「竜巻」などの激しい現象を引き起こし、毎年のように死傷事故が発生しています。落雷では、2023年に北見市で負傷者が出ているほか、宮崎県や奈良県のグラウンドで部活動中だった生徒複数名が同時に被害にあっています。

雷は、雲の中で「あられ」と「小さな氷の粒」が衝突することにより、大気中で正負の電荷の分離が大量に起こり、放電が発生する現象です。夏には、日中の強い日射によって温められた地面付近の空気が上昇し、背の高い積乱雲となって雷が発生しやすくなります。

真っ黒な雲が近づいてきたり、雷の音が聞こえてきたりした場合には、積乱雲が近づいている兆しです。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、砂浜などの開けた場所や、山頂などの高い場所では人に落雷しやすくなるので、周囲の状況によく注意をして、早めに建物などの安全な場所に避難できるようにしてください。

また、雷には周囲より高いものに落ちやすいという特徴があります。さらに、落雷を受けた樹木のそばに人がいると、その樹木から人体へ雷が飛び移ることがあります。そのため、落雷が激しい時には、高い木の下での雨宿りも危険です。やむを得ず屋外にいる場合は、樹木や電柱から距離をおいて、しゃがんで身の安全を確保してください。

気象庁では、雷の発生が予想されるときには、「雷注意報」を発表しています。また、雷の発生状況や落雷の可能性を解析し、1時間先までの予測を「雷ナウキャスト」としてウェブサイトで提供しています。レジャーや部活動など屋外で活動する際に、ゴロゴロという雷の音が聞こえてきた時には、雷注意報や最新の情報をもとに、早めの安全確保を心がけましょう。

問い合わせ先 網走地方気象台
(電話：0152-43-4349)



網走地方気象台ホームページ



気象庁ホームページ
「雷ナウキャスト」はこちらから

